

令和2年度 社会福祉法人 立正福社会事業報告

第二種社会福祉事業

(1) 児童健全育成に関わる相談事業

子どもの心理相談室	開設地—横浜市鶴見区獅子ヶ谷 橘学苑内相談室
室長	渡部公容
主任相談員	横畑泰希
相談員	鈴木純子 中西政人 池田和嘉子 新川絢子
スーパーバイザー	高橋一公
【開設現況】	相談室開設日=7日（土曜日のみ開設） 延べ相談回数=9回（電話相談は除く）
【相談内容】	不登校、自閉スペクトラム症、注意欠損/多動性障害（AD/HD）、注意欠損障害（ADD）、発達遅滞児、非行（飲酒）問題、母親の養育不安、対人関係の問題、家族関係の問題、青年期の進路相談、等（重複回答、継続相談を含む）
【研修業務】	開設日には、相談室スタッフが特に事例研究を中心に研修活動を行っている。
【その他】	特になし

(2) 全国基幹相談室の相談事業

【家庭児童相談室の開設現況と業務報告】

令和3年2月10日現在、家庭児童相談室の開設現況は、下記の通り。
また、各相談室の業務実態に即し、今年度より上半期・下半期に業務報告、事業計画、収支報告をするよう変更した。新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は活動停止状態。

(令和元年度業務報告本部保管)

NO	都道府県名	室長名	名 称
1	新潟(東)	坂井義栄	新潟県東部たちばな相談室
2	愛知(尾)	大橋円昭	尾張家庭児童相談室
3	岡山県	衣笠通謙	岡山県家庭児童相談室
4	埼玉県	渡邊源昇	埼玉ふれあい相談室
5	茨城県	徳永光由	はすの実家庭児童相談室
6	秋田県	山本善朗	秋田県家庭児童相談室
7	青森県	江利山義隆	青森県家庭児童相談室
8	北海道(北)	釋 英照	たちばな家庭児童相談室
9	千葉(南)	影山教俊	すこやか家庭児童相談室
10	新潟(西)	宮澤順亮	新潟県西部家庭児童相談室
11	大阪(市)	芦田勝康	心のきずな家庭児童相談室
12	香川県	成田東吾	まるがめ家庭児童相談室
13	高知県	齊藤随理	たむら家庭児童相談室
14	長野県	早川要清	蓮乗寺家庭児童相談室
15	長崎県	高野光拓	長崎家庭児童相談室のんさん

【全国家庭児童相談室室長会議】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度の開催を中止した。

【基幹相談室所属相談員の登録・更新に関する事業】

相談員登録—令和2年4月1日より本部より相談員登録更新手続きをした。現在登録数39名。
本年度の新規登録者は1名。(但し、本部相談員は除く)

(3) 相談員並びに相談室運営等に関する研修会への講師派遣事業

令和2年度の講師派遣はなかった。

(4) 事業所「たちばな子どもの発達教室 たっち」の経営

開設地	横浜市鶴見区獅子ヶ谷 1-10-35 橘学苑内 エルアントイザポートシステム2F
事業開始日	平成28年6月1日
職員	管理責任者、兼児童発達支援管理責任者 教室長 鈴木純子

	指導員（療育スタッフ）—新川絢子、沢田桃華、パート職員他8名	
1日定員	10名	
営業日時	全日 9:00~18:00	
支援内容	<p>児童福祉法に基づく、児童発達支援事業として、厚労省策定の「児童発達支援ガイドライン」に基づき、発達に心配のある子どもや支援を必要としている子どもの発達段階や状況に合わせ、オーダーメイドの療育を実施。</p> <p>個別療育では子どもの成長・発達、興味関心に合わせた課題に取り組みながら、ことば、認知コミュニケーションの能力を伸ばすための療育を行う。</p> <p>集団療育では発達段階に応じたグループの中で、友達と一緒に課題に取り組むことで社会の中で安心して生きる力を育むことを目的としている。</p> <p>今期より児童発達支援事業の多機能型として「放課後等デイサービス」を土日のみ開室した。基本的には児童発達支援事業で療育を受けていた子どものサポートとして小1から小3までの児童を対象として、学習の補完と集団活動に取り組んでいる。</p>	
月別実績	利用者契約件数	サービス提供回数
4月	47件	3.1回/日 141回/月
5月	0件	4.2回/日 63回/月
6月	2件	7.2回/日 217回/月
7月	3件	7.5回/日 219回/月
8月	0件	7.3回/日 229回/月
9月	2件	8.1回/日 227回/月
10月	0件	7.7回/日 240回/月
11月	1件	8.1回/日 241回/月
12月	2件	7.7回/日 201回/月
1月	1件	7.5回/日 227回/月
2月	1件	8.1回/日 228回/月
3月	△2件	7.8回/日 244回/月
合計	54件	平均7.0回/日 累計2,477回/年

運営報告

【渉外活動 担当別】

<児童発達支援管理責任者研修>

- ・事業所連絡会 オンライン 10月28日
- ・強度行動障害支援者養成研修 11月2日、12月25日
- ・防災研修 12月2日、3日
- ・障害者虐待防止・権利擁護研修 オンライン研修 (1月21日)

<指導員研修>

- ・放課後等デイサービス向け研修会
オンライン研修 3月3日、17日

<職場内研修>

- ・虐待防止・権利擁護研修 2月15日

【渉外活動 月別】

1月 : 旭小 関係機関連携会議

【活動内容】

- ・4月の新型コロナ感染症の緊急事態宣言を受け4月9日から10時半から15時までの短縮運営を行っていたが、24日から管理ビルの閉鎖に伴い、療育を休止した。
- ・5月11日からリモートによる療育を実施。
- ・6月より個別療育のみ開始し、集団療育一部除いてリモート療育を継続した。
- ・7月より通常療育に戻したが、密を避けるための対としてしてフィードバックと集団療育の保護者の観察を任意にした。
- ・12月27日に橘学苑内で新型コロナ感染症が発生したため、28日より当室も閉鎖した。

【活動報告】

- ・新型コロナ支援事業助成金制度を利用して新型コロナ感染症対策用の消毒等に加え、パソコン2台導入した。
- ・療育室内の監視カメラの1台が故障したため修理した。

【採用状況】

- ・パート5人が年度内に退職希望しているため、LITALICO キャリアを通して常勤1名採用。保育ファインのサイトで新採1名採用。
- ・育休でお休みしていた職員が4月より復帰。
- ・現在ハローワークと福祉のお仕事で募集をしている。(令和3年度の報酬改定を見越して専門職を希望している)

公益事業部門

(1)相談事業の円滑な運営のため相談員養成の事業

【相談員養成講座の開催】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度の開催を中止した。

会 議

【理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会】

会議名	開催日時	場所	議 題	出席
監事会	令和2年5月11日(月) 14:00~15:30	宗務院 応接室 2	・令和元年度事業報告書 ・令和元年度末財産目録 ・令和元年度計算書類 ・東京都の自己点検シートに基づき内部統制(法人経営)104項目について	3名
第1回 理事会	新型コロナウイルス感染症の発生に伴う緊急事態宣言の発令下、令和2年5月15日付、決議の省略の提案書を発送。 理事会の決議があったものみなされる日 令和2年6月2日		・令和元年度事業報告及び計算書類等お承認の件 ・定時評議員会の招集の件 ・理事長専決事項の件 ・任期満了に伴う第三者委員再任承認の件	
定時 評議員会	令和2年6月4日付、決議の省略の提案書を発送。 評議員会の決議があったものみなされる日 令和2年6月15日		・令和元年度計算書類及び財産目録の承認の件 (報告事項) ①令和元年度事業報告の件 ②令和2年度事業計画及び収支予算書の件	
第2回 理事会	令和2年10月29日(木) 13:00~15:00	宗務院 研修室 5	・今後の事業経営方針の件 ・家庭児童相談室開設等に関する規程改正(案)の件 ・定時評議員会の招集の件	8名

【本部役職員研修・関連団体会議・研修会】

新型コロナウイルス感染症の影響により、該当事項はなかった。

【新型コロナウイルス感染症関係の助成金申請】

・持続化給付金の申請 令和2年8月25日（200万円受給）

・緊急包括支援事業（障害分）

職員慰労金 令和2年12月23日（神奈川県国保連より1名5万円 合計50万円受給）

対策経費支援金 令和3年2月1日（神奈川県国保連より 38万円受給）

・家賃支援給付金 令和3年2月4日（24万円受給）

・雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金 令和3年3月9日（107,752円支給決定）

【日蓮宗宗門へ助成金の要請】

・「日蓮大聖人ご降誕800年慶讃予算」より、令和3年度中に600万円の支給決定。

以上